

宮城県放課後子ども総合プラン推進委員会

日時：令和2年12月22日（火）

午後3時から午後4時30分まで

場所：宮城県行政庁舎2階 第一入札室

次 第

1 開 会

2 開会のあいさつ

3 委員及び事務局職員の紹介

4 会議録署名委員の指名

5 報 告

(1) 令和元年度放課後子ども総合プランの取組状況の報告

① 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の実施状況・・・資料1 別紙1

② 放課後子供教室の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料2

③ 放課後子ども総合プラン進捗状況及び事例報告・・・・・・・・資料3 別紙2

(2) 令和2年度報告

① 放課後児童クラブについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料4

② 放課後子供教室について・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料5 別紙3

6 協 議

(1) コロナ禍における児童クラブ及び放課後子供教室の運営について

(2) 一体的実施の拡充に向けて

7 その他

・次年度以降の放課後子ども総合プラン推進委員会の持ち方について

8 閉会のあいさつ

9 閉 会

「宮城県放課後子ども総合プラン推進委員会」設置要綱

(設 置)

第1 次代を担う人材を育成し、加えて共働き家庭等が直面する「小1の壁」を打破する観点から、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことのできるよう、一体型を中心とした放課後児童クラブ及び放課後子供教室の計画的な整備により、放課後子ども総合プランの円滑な取組促進が図られるよう、県内における放課後対策の総合的な在り方について検討を行うため、「宮城県放課後子ども総合プラン推進委員会」（以下「推進委員会」という。）を設置する。

(検討事項)

第2 推進委員会は、県内の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室に関する次に掲げる事項を検討するものとする。

- (1) 実施方針及び安全管理方針に関すること。
- (2) 人材確保及び質の向上のための従事者・参画者の研修の企画・充実に関すること。
- (3) 広報活動方策に関すること。
- (4) 教育委員会と福祉部局の具体的な連携方策に関すること。
- (5) 事業実施後の検証・評価に関すること。
- (6) その他必要な事項に関すること。

(組織等)

第3 推進委員会は、別表に掲げる者のうちから、教育長及び保健福祉部長が委嘱又は任命する。
2 推進委員会に委員長及び副委員長を置く。
3 委員長は、委員の互選により定める。
4 副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。
5 委員長は、推進委員会を総理する。
6 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、または欠けたときは、その職務を代理する。

(委員の任期)

第4 委員の任期は委嘱又は任命した年度の翌年度末までとする。ただし、補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。
2 委員は、再任されることができる。

(会 議)

第5 推進委員会は、委員長が招集する。

(庶 務)

第6 推進委員会の庶務は、教育庁生涯学習課及び保健福祉部子育て社会推進室において処理する。

(その他)

第7 この要綱に定めるもののほか、推進委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が推進委員会に諮って定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成27年11月2日から施行する。
- 2 この要綱の施行の日以降最初に開かれる会議は、第5の規定にかかわらず、教育長及び保健福祉部長が招集する。

附 則

この要綱は、平成29年4月28日から施行する。

この要綱は、平成30年5月18日から施行する。

別 表

所 属	人 数	所 属	人 数
P T A関係者	1人	学校関係者	1人
児童福祉関係者	1人	放課後児童クラブ関係者	1人
社会教育関係者	1人	放課後子ども教室関係者	1人
家庭教育関係者	1人	行政関係者	3人
学識経験者	2人		

令和2年度推進委員

【委員】

NO.	氏名	所属・役職	備考
1	委員長 庭野 賀津子	東北福祉大学教育学部・教授	学識経験者
2	副委員長 佐々木 とし子	宮城県地域活動連絡協議会・会長	家庭教育関係者
3	水谷 修	東北学院大学・教養学部長	学識経験者
4	中野 裕夫	多賀城市教育委員会生涯学習課・課長	社会教育関係者
5	齋藤 勇介	宮城県児童館・児童クラブ連絡協議会・会長	児童福祉関係者
6	志村 洋一	宮城県PTA連合会・副会長	PTA関係者
7	池川 尚美	宮城県学童保育 緊急支援プロジェクト・代表	放課後児童クラブ関係者
8	岩渕 礼子	NPO法人 子ども育成支援団体キハト会・理事長	放課後子供教室関係者
9	渡邊 美由紀	名取市立下増田小学校・校長	学校関係者
10	福田 宏子	宮城県保健福祉部子育て社会推進室・参事兼室長	行政関係者
11	嘉藤 俊雄	宮城県教育庁生涯学習課・参事兼課長	行政関係者

【事務局】

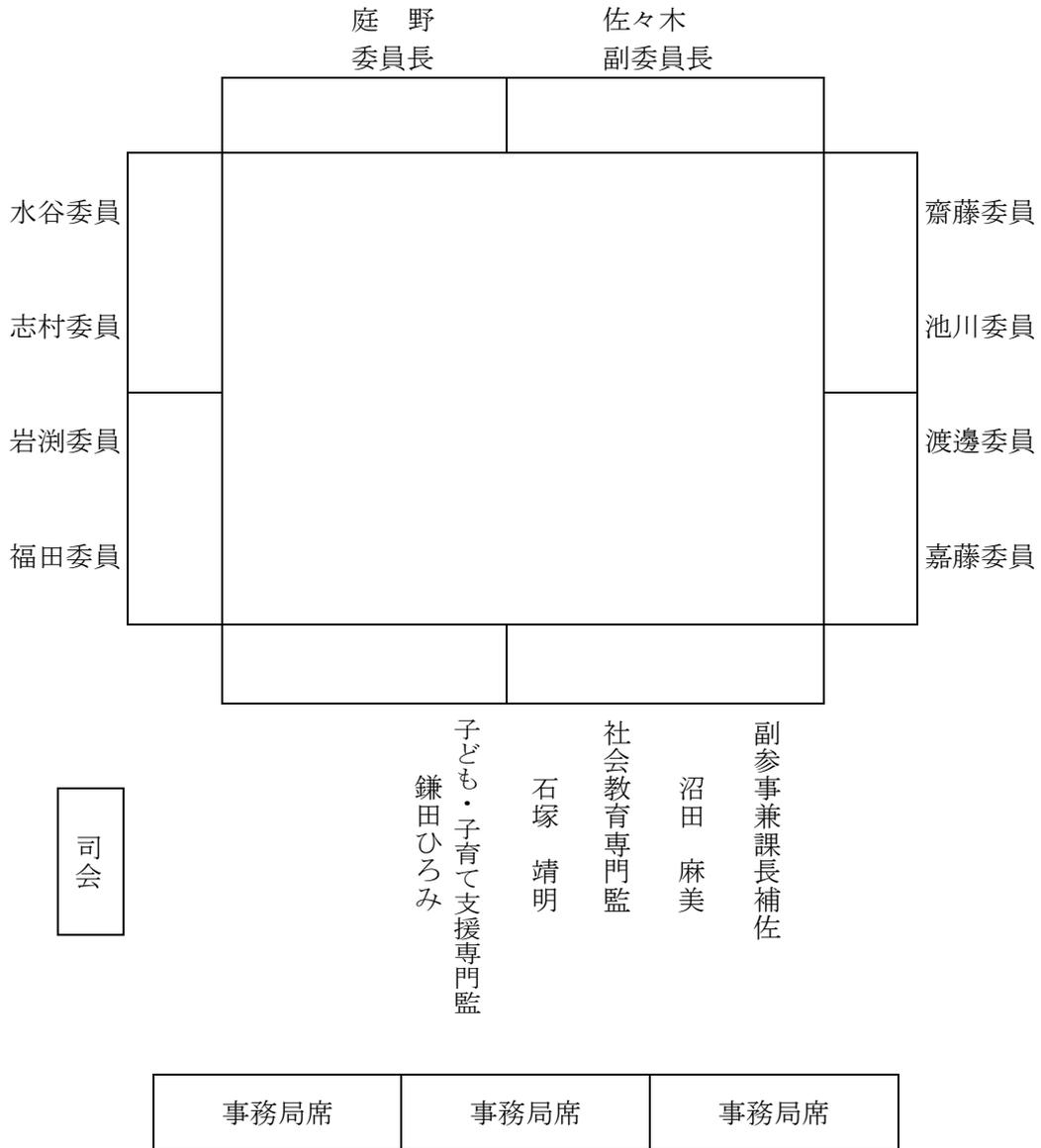
NO.	氏名	所属・役職	備考
1	鎌田 ひろみ	子育て社会推進室・子ども・子育て支援専門監	
2	高橋 美由紀	子育て社会推進室・企画推進班・室長補佐（班長）	
3	遠藤 真人	子育て社会推進室・企画推進班・主査	
4	工藤 真	子ども総合センター企画育成班・主幹（班長）	
5	石塚 靖明	生涯学習課・社会教育専門監	
6	沼田 麻美	生涯学習課・副参事兼課長補佐（総括担当）	
7	青野 禎宏	生涯学習課・協働教育班・課長補佐（班長）	
8	平林 健	生涯学習課・協働教育班・課長補佐	
9	石川 信亨	生涯学習課・協働教育班・主幹	

会場配置

日時：令和2年12月22日（火）

午後3時から午後4時30分

場所：宮城県行政庁舎2階 第一入札室



放課後健全育成事業（放課後児童クラブ）の実施状況及び人材育成状況

保健福祉部子育て社会推進室

1 放課後児童クラブの実施状況

(1) クラブ数等の推移

(各年度5月1日時点)

年 度	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1
クラブ数	415	418	454	478	502	501
登録児童数 (人)	18,200	20,793	22,366	25,082	26,877	28,840
待機児童数 (人)	281	383	346	295	362	436

※詳細は別紙のとおり

(2) 「みやぎ子ども・子育て幸福計画(令和2年度～令和6年度)」における「確保方策」

(単位:人)

年 度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
量の見込み	31,093	31,220	31,017	30,523	29,739
確保方策	31,433	31,745	31,771	31,513	31,073

2 資質向上等人材育成状況について

(1) 令和元年度実施研修の状況【県（子ども総合センター）実施研修】

①放課後児童支援員認定資格研修

直営 委託	実施者（委託先）	研修会場	研修日数	受講者	修了者
委託	特定非営利活動法人 チャイルドラインみやぎ	名取市文化会館	5日間	50人	49人
		東京エレクトロ ンホール宮城	4日間	62人	62人
		東京エレクトロ ンホール宮城	4日間	57人	57人
		東京エレクトロ ンホール宮城	4日間	58人	58人
		東京エレクトロ ンホール宮城	4日間	79人	78人
		大和町ふれあい 文化創造センター	4日間	44人	44人
		大和町ふれあい 文化創造センター	4日間	41人	41人
		東松島市コミュニ ティセンター	4日間	51人	51人
				442人	440人

②子育て支援員研修（基本研修）

直営 委託	実施者（委託先）	研修会場	研修日数	受講者	修了者
委託	特定非営利活動法人 チャイルドラインみやぎ	東京エレクトロン ホール宮城	2日	59人	58人
		大崎生涯学習セン ター	2日	32人	32人

③子育て支援員研修（放課後児童コース）

直営 委託	実施者（委託先）	研修会場	研修日数	受講者	修了者
委託	特定非営利活動法人 チャイルドラインみやぎ	東京エレクトロン ホール宮城	2日	30人	29人

④子育て支援員研修（地域保育コース(地域型保育)）

直営 委託	実施者（委託先）	研修会場	研修日数	受講者	修了者
委託	特定非営利活動法人 チャイルドラインみやぎ	東京エレクトロ ンホール宮城	6日 (見学含む)	48人	44人
		大崎生涯学習セ ンター	6日 (見学含む)	38人	35人

⑤放課後児童クラブ職員等を対象とした研修

研修名	対象者	実施状況
児童館等新任 職員研修	児童館・放課後 児童クラブの 新任職員	日 程 ①令和元年6月4日 ②令和元年7月3日 会 場 ①仙台市生涯学習支援センター ②まなウェルみやぎ 講 義 ①Ⅰ「児童館職員の職務について」 Ⅱ「宮城県の児童館について」 Ⅲ「コミュニケーションスキルアップ ～良好な人間関係を築くポイント」 ②Ⅳ「配慮を要する子への対応」 Ⅴ「放課後児童クラブの機能と役割」 参加者 各95人

児童館新任館長研修会	児童館新任館長	<p>日 程 令和元年6月18日</p> <p>会 場 まなウェルみやぎ</p> <p>講義Ⅰ 「リーダーコミュニケーションアップ研修～自己&他己の行動特性を理解し、効率よく仕事を進めるために」</p> <p>講義Ⅱ 「児童館におけるリスクマネジメント」</p> <p>参加者 30人</p>
児童館長研修	児童館長	<p>日 程 令和元年8月29日</p> <p>会 場 仙台市生涯学習支援センター</p> <p>講義Ⅰ 「リーダーコミュニケーションアップ研修～自己&他己の行動特性を理解し、効率よく仕事を進めるために」</p> <p>講義Ⅱ 「児童館におけるリスクマネジメント」</p> <p>参加者 53人</p>
放課後児童支援員（資質向上）研修会	放課後児童支援員	<p>日 程 ①令和元年9月12日 ②令和元年9月27日 ③令和元年10月30日 ④令和元年11月7日 ⑤令和元年11月28日</p> <p>会 場 ①宮城県大崎合同庁舎 ②宮城県石巻合同庁舎 ③まなウェルみやぎ ④仙台市生涯学習支援センター ⑤登米市迫公民館</p> <p>講義Ⅰ 「子どもたちの健やかな成長のために～放課後児童支援員の役割」</p> <p>講義Ⅱ 「発達障害児など配慮を要する児童の支援」</p> <p>講義Ⅲ 「児童の発達について～高学年児童の理解と対応」</p> <p>講義Ⅳ 「信頼関係を構築するコミュニケーションのコツ」</p> <p>講義Ⅴ 「保護者や地域との連携の在り方、保護者対応の仕方を考える」</p> <p>参加者 450人</p>
放課後児童クラブ職員等ブロック研修会	放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の職員等	<p>日 程 ①令和元年5月20日 ②令和元年5月31日 ③令和元年6月11日</p> <p>会 場 ①気仙沼市本吉公民館 ②東松島市コミュニティセンター ③仙台市生涯学習支援センター</p> <p>実 技 表現活動「作って楽しい 遊んで楽しい リサイクルおもちゃ」参加者 196人</p>

遊びの技術研修	児童館・放課後児童クラブで健全育成に携わる職員	日程 ①令和2年1月21日 ②令和2年2月4日 会場 ①山元町防災拠点・山下地域交流センター ②まなウェルみやぎ 表現活動 「子供が喜ぶしかけおもちゃを創ろう」 ゲーム・運動遊び 「体を使ってみんなであそぼう」 参加者 117人
---------	-------------------------	--

(2) 令和2年度実施予定研修について

①放課後児童支援員認定資格研修

直営委託	実施者(委託先)	研修会場	研修日数	受講者(予定)
委託	株式会社東京リーガルマインド	未定	計16日	200人

②子育て支援員研修(基本研修)

直営委託	実施者(委託先)	研修会場	研修日数	受講者(予定)
委託	株式会社東京リーガルマインド	未定	計4日	100人

③子育て支援員研修(放課後児童コース)

直営委託	実施者(委託先)	研修会場	研修日数	受講者(予定)
委託	株式会社東京リーガルマインド	未定	計2日	50人

④子育て支援員研修(地域保育コース(地域型保育))

直営委託	実施者(委託先)	研修会場	研修日数	受講者(予定)
委託	株式会社東京リーガルマインド	未定	計6日 (見学含む)	50人

⑤放課後児童クラブ職員等を対象とした研修

研修名	対象者	内容(予定)
児童館等新任職員研修	児童館・放課後児童クラブの新任職員	日程 ①令和2年9月10日 ②令和2年9月29日 会場 ①②仙台市生涯学習支援センター

		講 義 I 「宮城県の児童館と児童館職員のサービスについて」 II 「放課後児童クラブの機能と役割」 受講者（予定） 各50人
児童館新任館長研修会	児童館新任館長	日 程 令和2年8月27日 会 場 まなウェルみやぎ 講 義 I 「働きやすい職場環境と人材育成について」 II 「グレーゾーンといわれる子どもの適切な対応について」 受講者（予定） 50人
放課後児童支援員（資質向上）研修会	放課後児童支援員	研修日数 計5日 受講者（予定） 各100人
遊びの技術研修	児童館・放課後児童クラブで健全育成に携わる職員	研修日数 計2日 受講者（予定） 各70人

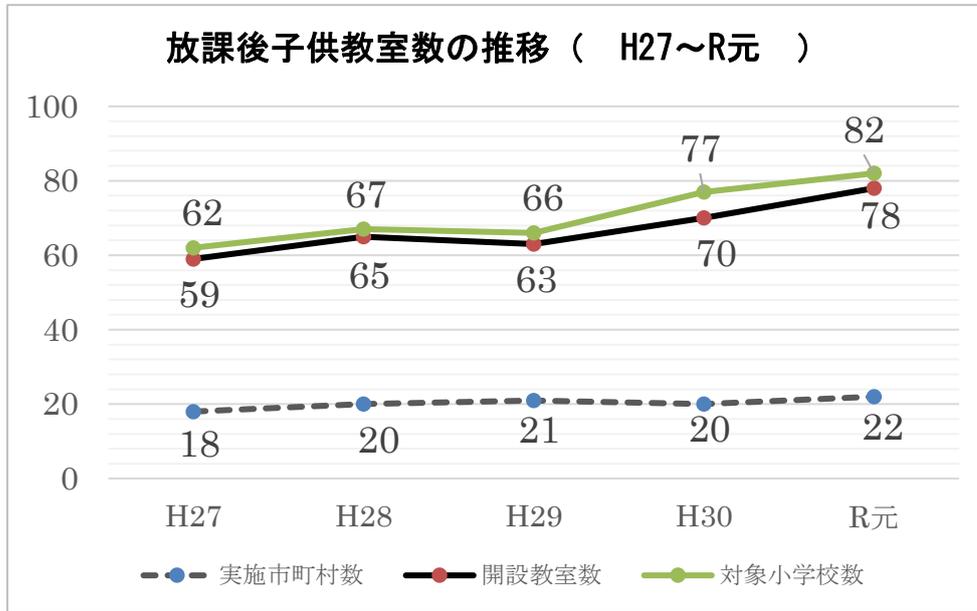
※児童館長研修及び放課後児童クラブ職員等ブロック研修会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

令和元年度放課後子供教室の実施状況（元年度末時点）

1 実施状況

(1) 実施市町村数と教室数の推移

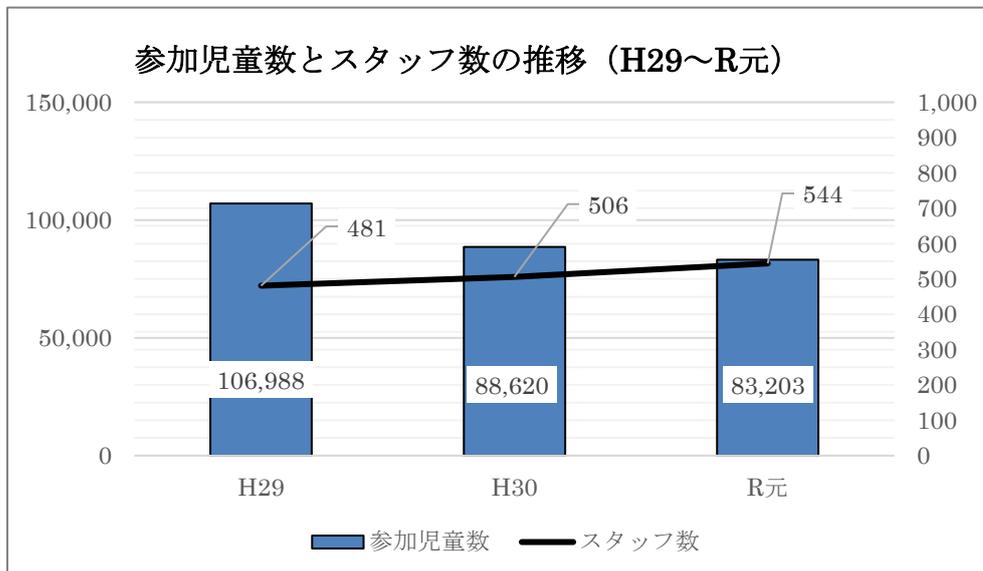
<県の指標>設置している小学校数を前年度比3%増加（2020年度までに35%以上）



	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
実施市町村数	18 市町村	20 市町村	21 市町村	20 市町村	22 市町村
開設教室数	59 教室	65 教室	63 教室	70 教室	78 教室
対象小学校区数	62 小学校区	67 小学校区	66 小学校区	77 小学校区	82 小学校区
設置(カバー)率	23%	25%	26%	30%	32%

(2) 参加児童数(のべ人数)とスタッフ数の推移

<県の指標>ボランティア等の地域住民の登録者数を前年度比5%増



	H29 年度	H30 年度	R 元年度
宮城県全体の 子供参加児童数 (のべ)	106,988 人	88,620 人	83,203 人
スタッフ数	481 人	506 人	544 人
前年度比 (%)	—	105%	107%

(3) 参加する子供たちの満足度

<県の指標>放課後子供教室に参加する子供たちの満足度 80%以上

	H30 年度	R 元年度
子供たちの満足度	89.0%	88.5%

2 人材育成状況

※人数は児ク関係者を含みます。

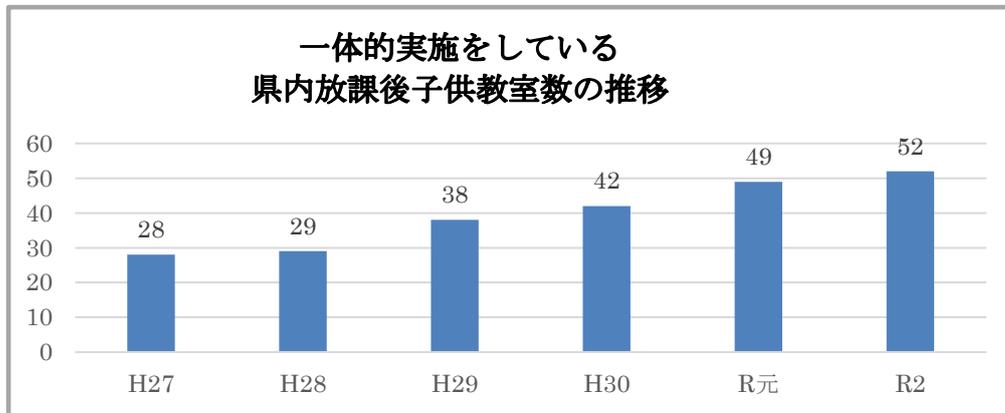
研修名	対象者	主催	実施状況
放課後子供 教室指導者 等研修会	放課後子供教室 関係者	県生涯 学習課	日 程 令和元年6月1日 会 場 セキスイハイムスーパーアリーナ (グランディ・21) 内 容 研修「集団を生かした人間関係づくり」 ～みやぎアドベンチャープログラム (MAP)体験を通して～ 参加者 65名
放課後児童 クラブ職員 等ブロック 研修会	放課後児童クラブ 及び放課後子供教 室の職員等	県子 ども 総合セ	日 程 (1)令和元年5月20日 (参加 15人) (2)令和元年5月31日 (参加 47人) (3)令和元年6月11日 (参加134人) 会 場 (1)気仙沼市本吉公民館 (2)東松島市コミュニティセンター (3)仙台市生涯学習支援センター 実 技 表現活動「作って楽しい!遊んで楽しい! リサイクルおもちゃ」
地域活動指 導者養成研 修会	放課後子供教室 関係者、放課後児童 クラブ関係者、子育 てサポーター、協働 教育事業担当者、子 どもの居場所づく り事業担当者、各市 町村生涯学習担当 者、公民館職員、P TA関係者、子ども 会関係者、NPO関 係者、教員、青少年 育成に関心のある 方等	県生涯 学習課	日 程 (1)令和元年5月14日 (参加 46人) (2)令和元年6月6日 (参加 28人) (3)令和元年7月3日 (参加 21人) (4)令和元年7月10日 (参加 45人) (5)令和元年9月26日 (参加 24人) 会 場 (1)登米市南方公民館 (2)石巻合同庁舎 (3)宮城県庁みやぎ広報室 (4)登米合同庁舎 (5)大河原合同庁舎 内 容 (1)紙飛行機で笑顔になろう (2)伝承遊びで笑顔になろう (3)作って遊んで笑顔になろう (4)レクリエーションで笑顔になろう (5)伝承遊びで笑顔になろう

<県の指標>研修会の内容に対する参加者の満足度 80%以上

	H30 年度	R 元年度
放課後子供教室指導者等研修会	97%	100%

放課後子ども総合プランの進捗状況

1 県内進捗状況



	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
一体的実施市町村数	7	7	14	16	18	19
一体的実施教室数	28	29	38	42	49	52

2 一体的実施をしている割合等(仙台市を除く)

※別紙2参照

	令和元年度 (3月末)	令和2年度 (参考値)	増減 (参考値)
県内学校数	250 校	250 校	—
対象小学校区数	82 校	82 校	—
開設教室数	78 教室	78 教室	—
一体的実施教室数	49 教室	52 教室	3増
一体的実施をしている割合	62 %	66 %	4%増
放課後子供教室の県内小学校カバー率 (対象小学校区数÷県内学校数×100)	32 %	32 %	—

3 一体的に実施できていない理由(令和2年度11月時点で26教室)

- 児童クラブがないため・・・7教室
- 離れているため・・・4教室
- 人数制限等の関係・・・9教室
- その他の理由・・・6教室

一体的に実施している事例

開催日	令和2年1月20日（月）
教室名	「放課後楽校 in あらはま」（亶理町立荒浜小学校）
活動場所	荒浜小学校図工室
参加児童	12名（1年生1名，2年生10名，3年生1名）

教室の様子

- ・ この日の活動は「方言かるた」約2時間。「仙台かるた」と「亶理弁かるた」の2種類を用意。
- ・ コーディネーター1名と，12名のスタッフ，計13名で対応。
- ・ 午後2時30分頃に子供達が図工室に集まり，コーディネーターが挨拶と約束事の確認。また，この日の主担当者となっているスタッフから「方言かるた」の説明後，活動開始。
- ・ 児童は6人ずつ2グループに分かれて，それぞれ元気に楽しくかるた取りをしていた。
- ・ スタッフは19名登録されており，都合によって来れない人もいるが，いつも子ども一人に対し大人一人が付けるくらいの人数が協力してくださるとのことであった。
- ・ 今年度開設したばかりの教室であり，春先は，活動終了時児童クラブに向かう児童と，帰宅する児童，バス利用する児童の，それぞれの対応で混乱したという。名札にシールを貼ったり，時間差で退室させたりするなど工夫しているとのこと。
- ・ 児童館は，学校敷地から1本道路を渡った向かい側に立地しており，活動終了後は，事故が起きないようにスタッフが2名程度で引率しているとのこと。
- ・ コーディネーターはとても慣れた様子で，自らはあまり前に立たず，スタッフをたてる配慮を感じた。
- ・ コーディネーターは，以前，地元交流センターの職に就いており，町教委から話を受けた際に，チラシや手紙を書いて地元スタッフを募ったという。「子どもたちのために，新しいことをやってみませんか」という内容で書いたとのこと。女性スタッフだけでなく男性スタッフも必要と感じて意図的に声を掛けたとも話していた。



「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 の取組事例

「地域学校協働活動(放課後子ども教室)」(宮城県石巻市)

取組の概要や経緯

市内小学校区において、公共施設等を活用し、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため平成25年度に和渚小学校区をモデル地区として開始した。



和小っ子クラブ:茶の湯体験



上釜子ども教室:植栽活動



放課後子ども教室Bremen:
歴史散歩

内容

◎和小っ子クラブ(平成25年度より実施)

年32回実施。毎週木曜日の放課後に地域ボランティアが講師となり、学校に隣接する老人憩いの家を活動拠点として、遊びや体験活動などを行った。今年度から対象を1年生から3年生までとした。

◎上釜子ども教室(平成28年度より実施)

年9回実施。上釜町内会、NPO法人にじいろクレヨンボランティアが講師となり体験学習や創作活動などを行った。

◎放課後子ども教室Bremen(平成29年度より実施)

年24回実施。NPO法人放課後こどもクラブBremenが主体となって活動している。地域の方を講師として体験活動や創作活動などを行った。

ポイント

- ①和和小っ子クラブは年度始めに参加児童を募集し実施する。縦割りの班を編成しており、班ごとの活動を中心に活動する。
- ②上釜、Bremenの活動は実施ごとに参加者を募って活動する。
- ③コーディネーターが中心となり、ボランティアの役割を明確にして活動する。

成果

地域の方々が子どもたちの教育に協力を惜しまず、子どもたちと共に放課後子ども教室に参画することに生きがいを見出す中で、子どもたちの安心・安全な居場所作りが行われている。

子どもたちは、異世代交流を行い、地域に根ざした活動ができてきており、地域の人々に見守られながら遊びや体験活動などをやり遂げることで学習意欲が向上するとともに、思いやりの気持ちが育っている。

〈石巻市放課後子ども教室実施回数・参加者数〉()は平成30年度

事業名	実施回数	児童		ボランティア	
		登録者数	平均参加者数	登録者数	平均参加者数
和小っ子クラブ	32回	39人(50人)	27.9人(41.6人)	26人(25人)	11.4人(12.2人)
上釜子ども教室	9回	自由参加	16.4人(11.3人)	15人(15人)	5.1人(7.1人)
放課後子ども教室Bremen	24回	回ごとに募集	11.0人(8.1人)	13人(14人)	3.6人(4.8人)

今後の方向性

- ・子どもたちに多様なプログラムを提供できるように、地域の人材の活用の他、関係機関との連携を図った取組を模索する。
- ・各地区で持続した取組ができるように、ボランティアの育成・確保に努める。
- ・放課後子ども教室の取組を周知し、参加児童の増加を目指すとともに、他地域での教室開催を目指す。

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 の取組事例

「地域の力でつくる子供達の放課後」 （宮城県白石市）

取組の概要や経緯

平成17年度に斎川小学校区で「地域子ども教室推進事業」として行ったのを始まりに、児童クラブへの移行、小学校の統廃合を経て、令和元年度は市内4小学校区で実施している。地域住民がコーディネーター、スタッフとして活躍している。



内容

平成30年度から児童クラブ一体型、連携型を実施した。連携型の放課後子ども教室は閉校した学校行事で行われていた伝統文化体験を、統合した小学校の子ども教室で体験活動として行っている。一体型の教室は、運動遊び「ムーブメント」、絵本の読み聞かせ、造形活動や調理教室など様々なプログラムを実施している。各教室が地域の特色や実情にあわせた、特色あるプログラムを実施し、子ども教室スタッフ以外の地域の方々も、子供達の放課後の体験活動を支えている。



今後の方向性

- ・自由遊びだけでなく、講師の派遣等を活用して子どもたちにとって貴重な体験となる活動を展開していく。
- ・スタッフや学校との連携・協力体制を話し合いを通してより強化していく。

ポイント

- ①各教室ごとに地域の伝統文化や地域の人材を活かした、特色あるプログラムを実施。
- ②児童クラブとの連携より、休日を活用した体験活動を実施。
- ③スタッフ会議を年間2回開催し、情報共有を行っている。

成果

- ・閉校になった地域の活性化や地域住民の生きがいづくりにも繋げることができた。
- ・スタッフ会議を開催し、募集方法・安全管理など課題を話し合い、対応について考え合えた。
- ・前年度の反省を活かし、安全かつより楽しい活動となるよう各教室でプログラムを組み立てている。



「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 の取組事例

「町は学校」学校・家庭・地域が連携した教育活動(宮城県 大和町)放課後子ども教室

取組の概要や経緯

震災以前からの活動が震災後も継続して行われてきていることに加え、震災後の人口増による地域づくりに対応するために交流促進を図る活動が展開されている。

大和町内各5箇所で放課後子ども教室を開催。各教室にコーディネーターと安全管理員を配置し内容の検討し計画実施している。

内容

毎月第1月曜日に各地区のコーディネーターが集まる「コーディネーター会議」を開催し、日程と開催内容の調整、情報交換を行っている。

◎放課後子ども教室(5教室)各教室月4回程度

○わいわい宮床っ子 金曜日 / ○わいわい吉田っ子 月曜日

○わいわい鶴巣っ子 木曜日 / ○わいわい落合っ子 木曜日

○わいわい小野っ子 月曜日

放課後の安全安心な居場所づくりに加え各種活動の計画から準備などコーディネーターにより計画され実施されている。運動や創作活動など、子供たちに多様な学習の機会を提供している。



ポイント

各地域の住民と関わる機会を設けるため、グラウンドゴルフ教室など地域の方が協力できる教室を開催する。

わいわいだよりにより、月の活動を家庭に知らせる。

ボランティア研修会を開催し、コーディネーターと安全管理員の知識向上を図る。



成果

子どもたちの放課後の居場所づくりが図られた。また、多様な学習の機会を提供することで、子供たちの興味関心を広げることができた。

地域住民と子供の交流が図られ安心、安全な地域づくりの一助となった。

今後の方向性

- ・子どもを地域全体で育むために、各地区の特徴を活かした活動を支援する。
- ・地域間の人材不足や人数の格差の解消に向けて、地域を越えた活動についても促進する。
- ・地域の実情に合わせて教室の持ち方を検討する。
- ・児童館一体型の開催を推進する。

NO.	市町村	臨時休業延長への対応				完全閉所	児童の受入体制 ① 午前中からのクラブ開所に対応 ② 学校とクラブの両方に対応	備考
		縮小せず 開所	縮小開所					
			期間	登園自粛 を依頼	特定児童 のみ受入			
1	仙台市		4/23~	○			② 学校とクラブの両方に対応	
2	石巻市		4/21~5/31	○			① 午前中からのクラブ開所に対応	
3	塩竈市	○					① 午前中からのクラブ開所に対応	
4	気仙沼市		4/25~5/31	○			② 学校とクラブの両方に対応	
5	白石市		4/17~	○			② 学校とクラブの両方に対応	
6	名取市		3/3~3/24、 4/8~5/31	○			① 午前中からのクラブ開所に対応	
7	角田市		3/9~	○			② 学校とクラブの両方に対応	
8	多賀城市	○					① 午前中からのクラブ開所に対応	
9	岩沼市		3/2~	○			① 午前中からのクラブ開所に対応	
10	登米市		4/20~	○			① 午前中からのクラブ開所に対応	
11	栗原市		4/17~	○			② 学校とクラブの両方に対応	
12	東松島市		4/22~	○			② 学校とクラブの両方に対応	
13	大崎市		3/2~	○			① 午前中からのクラブ開所に対応	
14	富谷市		4/20~		○		① 午前中からのクラブ開所に対応	
15	蔵王町		4/14~	○			① 午前中からのクラブ開所に対応	
16	七ヶ宿町	○						5/11~学校再開
17	大河原町		4/20~	○			② 学校とクラブの両方に対応	
18	村田町		4/20~	○			① 午前中からのクラブ開所に対応	
19	柴田町		3/6~	○			① 午前中からのクラブ開所に対応	
20	川崎町		4/14~	○			② 学校とクラブの両方に対応	
21	丸森町	○					② 学校とクラブの両方に対応	
22	亘理町		3/2~5/31	○			① 午前中からのクラブ開所に対応	
23	山元町		4/22~5/16		○		② 学校とクラブの両方に対応	
24	松島町	○					② 学校とクラブの両方に対応	
25	七ヶ浜町		4/22~	○			① 午前中からのクラブ開所に対応	
26	利府町		4/20~	○			① 午前中からのクラブ開所に対応	
27	大和町		4/17~	○			① 午前中からのクラブ開所に対応	
28	大郷町		4/8~			○		
29	大衡村							
30	色麻町		4/13~5/31	○			② 学校とクラブの両方に対応	
31	加美町		5/11~	○			① 午前中からのクラブ開所に対応	4/22~5/10 特定児童のみ受入
32	涌谷町		5/11~	○			① 午前中からのクラブ開所に対応	4/22~5/10 特定児童のみ受入
33	美里町		4/22~5/31	○			① 午前中からのクラブ開所に対応	
34	女川町		4/20~	○			① 午前中からのクラブ開所に対応	
35	南三陸町	○					① 午前中からのクラブ開所に対応	4/25~5/8縮小開所 (登園自粛を依頼)

○放課後児童クラブを午前中から開所するための応援職員の受け入れ状況等について

都道府県名	市区町村名	①応援職員の有無 プルダウン	② 応援職員の内訳（複数選択可）					その他の内容	③ 職員を派遣するための関係機関や保護者との調整方法		④ その他、留意点や工夫点			
			他の放課後児童クラブ	教職員	児童館	ボランティア	その他		派遣する側	派遣される側	派遣する側	派遣される側		
									自由記載	自由記載	自由記載	自由記載		
			プルダウン（複数選択可）					自由記載	自由記載	自由記載	自由記載			
		(記入例)	○	○	○	×	×	○	放課後子ども教室の職員	学級を担任する教師以外の教師、養護教諭等を中心に、可能な限り職員を派遣した	保護者に対し、教職員等が従事することについて事前に周知した	クラブ間で連携し、利用児童の少ない日時は他のクラブを応援するなど、協力体制を築いた	クラブ職員と派遣職員がベアになるようシフトを組んだ（派遣職員のみ時間帯がないようにした）	
1	宮城県	仙台市	○	○	○	×	×	○	運営管理団体内で職員を融通し、対応。また、学校との連携により学年を分けて双方で受け入れ、人員不足とならないよう措置を講じた。					
2	宮城県	石巻市	○	×	×	×	×	○	特別支援教育支援員（各学校所属）	教育委員会に対し派遣を依頼し、校務に支障のない範囲で派遣した。		所属する学校以外へも、人手の足りない地区へ特別支援教育支援員を派遣した。	派遣職員のみ時間帯がないようにした。	
3	宮城県	塩竈市	○	×	○	○	×	○	臨床心理士	本市子育て支援課より本市教育委員会へ教職員の協力をお願いした。	本市より指定管理事業者へ午前開所の協力を依頼した。それを受けて、事業者内部で児童館職員や臨床心理士の人員調整があった。			
4	宮城県	気仙沼市	×											
5	宮城県	白石市	×											
6	宮城県	名取市	○	×	○	○	×	○	特別支援教育支援員 教員補助者	特別支援教育支援員と教員補助者を全員派遣した。人員と場所が不足しているとの要請を受け、小学校の体育館や特別教室等を貸与するとともに、小学校教員を配置した。	派遣決定後、小学校が作成した簡易の勤務可能日をもとに、特別支援教育支援員等派遣職員等と児童クラブで直接シフトの調整を行った。	小学校教員の配置については、業務に影響がないよう交代制にした。	クラブ職員と派遣職員がベアになるようシフトを組んだ。	
7	宮城県	角田市	×											
8	宮城県	多賀城市	○	×	×	×	×	○	特別支援教育支援員 放課後子ども教室の職員	事前調整した派遣希望人数と業務内容を基に、支援員をできる限り派遣した。	教育委員会に対し、支援員の必要人数と依頼したい業務内容を事前に調整。			
9	宮城県	岩沼市	○	×	○	×	×	○	子育て支援センター	・（学校）午前中は校舎で児童クラブが開設されており、指導助手を派遣して協力した。 ・（子育て支援センター）支援センターが併設されている施設においては、児童クラブ職員の不足時にセンター職員が協力した。	・派遣される職員に対し、事前にクラブの生活の流れや、個別支援の方法を伝えた。 ・午前中は校舎で児童クラブが行われることを周知し、早めに欠席連絡等をするよう保護者に声掛けをした。 ・何度も小学校と話合いの場を持ち、確認し合いながら進めた		・午前中は校舎に児童クラブ職員を常駐させ、児童に体調不良や怪我があった際は、保護者へ連絡等を取れるようにした。 ・午後からは各施設で児童クラブが開設されるため、小学校からの移動時はクラブ職員が見守り、所在を確認するようにした。	
10	宮城県	登米市	○	×	○	×	×	×		可能な限り児童クラブ該当地区の学校教職員を派遣した	事前に教職員と運営についての打ち合わせを行い、保護者に対しては教職員が従事している旨を口頭で説明した	派遣する教職員が特定の人物のみにならないようにシフトを組んだ	クラブ職員と教職員がベアになるようシフトを組んだ（教職員のみ時間帯がないようにした）	
11	宮城県	栗原市	○	×	○	×	×	×		担任の先生や教頭先生、教育委員会の職員と連絡を取り合い、職員を派遣した。	小学校、教育委員会と連絡を取り合い、従事する職員を調整した。	放課後児童クラブを運営している社会福祉協議会と教育委員会で小学校へ訪問し、応援職員の派遣について協議した。	放課後児童クラブのリーダーが小学校と連絡を取り合い、従事する職員を調整した。	
12	宮城県	東松島市	×											
13	宮城県	大崎市	○	×	×	×	×	○	併任給食調理員・併任教育支援員	教育委員会へ長期休業中のみ児童クラブに従事することとなっていた併任給食調理員や併任教育支援員（併任職員）を臨時休校期間中も優先的に児童クラブに派遣していただくよう依頼をした。			児童クラブ職員と併任職員に偏りが出ないよう、シフトを組んだ。（併任職員のみ時間帯が無いようにした。）また、臨時休校期間中は児童クラブに出勤した併任職員は、元々の学校勤務と児童クラブの勤務時間の差や、賞金単価に差が出ないよう（本人が児童クラブ勤務したことによって不利益にならないよう）調整をした。	
14	宮城県	富谷市	○	×	○	×	×	○	公立保育所保育士、小学校支援員	公立保育所から保育士、小学校からは教諭又は支援員を可能な限り派遣した。	医療従事者とひとり親家庭のみの受け入れであったため、特に保護者への周知は行わなかった。	児童クラブ側の職員数が少ない時間帯（主に午前中）に応援職員を派遣した。	児童クラブ職員が配置されている場所に、派遣職員を配置した。小学校教諭については、小学校のクラス見を見てもらった。	
15	宮城県	蔵王町	○	×	×	×	×	○	子育て支援センターの職員	基本的にはそれぞれのクラブの職員が対応したが、シフトを組むことが難しい場合に相談してもらい、職員を派遣した。			クラブ職員と派遣職員がベアになるようシフトを組んだ。	
16	宮城県	七ヶ宿町	×									春休み、夏休み（長期休み）シフトで対応してもらった。	家に入れる子ども（高学年）については、家で過ごしてもらった。	
17	宮城県	大河原町	○	×	×	×	×	○	町任用の教員補助者	教育総務課と子ども家庭課で調整し教員補助者を派遣した。	保護者へ教員補助者について掲示やお便りで周知した。	小学校の空き教室、児童館に派遣し協力体制を築いた。	毎日同じ時間にシフトを組んで、放課後児童クラブ職員とベアを組むように配慮した。	
18	宮城県	村田町	○	×	×	×	×	○	幼稚園教諭	幼稚園休園の間、可能な限り職員を派遣した。	幼稚園教諭が従事することについて利用児童を通して保護者へ周知した		応援職員のみ時間帯がないようにした。	
19	宮城県	柴田町	○	×	×	×	×	○	学校支援員	学校が休校になったことに伴い学校支援員の手が空いたため派遣した。	長期休みに対する準備が整っていなかったため、体制が整うまで派遣を受けた。	クラブ間で連携し、利用児童の少ない日時は他のクラブを応援するなど、協力体制を築いた	クラブ職員と学校支援員がベアになるように配置した（学校支援員のみ時間帯がないようにした）	
20	宮城県	川崎町	×											
21	宮城県	丸森町	×											
22	宮城県	亶理町	×											
23	宮城県	山元町	○	×	×	○	×	×		可能な限り、職員を派遣した	衛生管理などの情報共有を徹底した			
24	宮城県	松島町	○	×	×	○	×	×		児童館と児童クラブは同じNPO法人が運営しているため、児童館職員の派遣について随時対応した。	児童館職員とクラブ職員は情報交換を密にしているため、安心して受け入れることができた。	利用児童が多い日や時間帯、クラブ職員が指定休で手薄になる日に児童館職員が応援に入った。		
25	宮城県	七ヶ浜町	×											
26	宮城県	利府町	○	○	×	×	×	×			児童クラブのおたよりに応援職員が来ている旨を記載し、保護者に周知した。		子どもが多い時間帯のみ応援職員に入ってもらおうようシフトを調整した。	
27	宮城県	大和町	×											
28	宮城県	大郷町	×											
29	宮城県	大衡村							放課後児童クラブなし					
30	宮城県	色麻町	○	×	×	×	×	○	小中学校の学習支援員	学校臨時休業により、学習支援員の業務量が減少することから、クラブの依頼に応じ教育委員会に派遣依頼を行い、可能な限り職員を派遣した	学校臨時休業により、緊急な職員確保は困難のため、学習支援員の業務量が減少することもあり、教育委員会を通じ派遣を依頼した	クラブの依頼に応じシフトを組み、協力体制を築いた	クラブ職員と派遣職員がベアになるようシフトを組んだ（派遣職員のみ時間帯がないようにした）	
31	宮城県	加美町	○	×	○	×	×	×		教育委員会と学校勤務の補助員の派遣について、早急に調整した。			応援職員の勤務時間の調整をシフトを組む関係もあり、今回のことも踏まえ再調整が必要。	
32	宮城県	涌谷町	×											
33	宮城県	美里町	○	×	×	×	×	○	学校給食調理員・補助教員	教育委員会に依頼をした	従事する職員は、勤務している学校区の放課後児童クラブを手伝ってもらった	児童が多くいる時間帯を中心に協力してもらった	派遣職員のみ時間帯がないようにした。また、クラブ職員のチーフから指示を出してもらったようにした。	
34	宮城県	女川町	○	×	○	×	×	○	子育て支援センター職員	給食の調理員や、閉所していた子育て支援センターから職員を派遣した		利用児童の人数に応じて派遣する人数を調整した	児童クラブの職員と派遣職員がベアになるようにシフトを組んだ	
35	宮城県	南三陸町	○	×	×	×	×	○	子育て支援センターの職員	子育て支援センターの職員にシフトが可能な限りの派遣をした	保護者には、おたよりに通じて支援センター職員が従事する日があることを周知した		長期休業中は確実にシフトに入るが、支援センターが手薄にならないように気をつけた	放課後児童クラブ職員と支援センター職員がベアになるようシフトを組んだ

※行が不足する場合は追加してください

資料4-3

○放課後児童クラブにおける臨時休所の状況（12月17日現在）

（単位：箇所）

	R2.3		R2.4		R2.5		R2.6		R2.7		R2.8		R2.9		R2.10		R2.11		R2.12		計
	箇所数	休所理由	箇所数	休所理由	箇所数	休所理由	箇所数	休所理由	箇所数	休所理由	箇所数	休所理由	箇所数	休所理由	箇所数	休所理由	箇所数	休所理由	箇所数	休所理由	
1	仙台市		2	感染者発生 感染防止													2	感染防止	1	感染防止	5
2	石巻市																1	感染防止			1
3	塩竈市																				0
4	気仙沼市																				0
5	白石市																2	感染防止			2
6	名取市		1	感染防止													1	感染防止			2
7	角田市																				0
8	多賀城市																				0
9	岩沼市																				0
10	登米市																		3	感染防止	3
11	栗原市																				0
12	東松島市																				0
13	大崎市												2	感染防止							2
14	富谷市																				0
15	蔵王町																				0
16	七ヶ宿町																				0
17	大河原町												4	感染防止							4
18	村田町																				0
19	柴田町																				0
20	川崎町																				0
21	丸森町																				0
22	亶理町																				0
23	山元町																				0
24	松島町																				0
25	七ヶ浜町												1	感染者発生							1
26	利府町														1	感染者発生					1
27	大和町														2	感染者発生 感染防止	2	感染防止			4
28	大郷町	1	感染防止																		1
29	大衡村																				0
30	色麻町																				0
31	加美町																				0
32	涌谷町																				0
33	美里町																				0
34	女川町																				0
35	南三陸町																				0
計		1		3		0		0		0		0		7		3		8		4	26

※休所理由について

感染者発生 = 放課後児童クラブにおいて児童又は職員に感染者が発生したため休所

感染防止 = 放課後児童クラブにおいて感染者は発生していないが、感染拡大防止のため自治体の判断で休所したもの

令和2年度放課後子供教室の状況について

1 令和2年度放課後子供教室の実施状況(コロナウイルスに係る実施状況調査:11月1日時点)

	市町村単位	教室単位
実施している	79% (18市町村/23市町村)	58% (45教室/78教室)
今後実施予定	4% (1市町村/23市町村)	1% (1教室/78教室)
今年度は実施しない	4% (1市町村/23市町村)	14% (11教室/78教室)
未定	13% (3市町村/23市町村)	27% (21教室/78教室)

(状況説明) ※別紙3より一部を抜粋

市町村名	教室名	対象小学校数	対象学校区名	実施状況 (11月1日時点) 実施した=○ 実施予定=△ 今年度は実施しない=× 未定=未定	開始月	年間開催予定日数 *実施済みを含む	状況
石巻市	H29 放課後子ども教室Bremen	1	石巻市立石巻小学校他	○	6月	29日	活動場所や活動内容を踏まえ、人数制限をかけて参加を募り活動している。このようなときだからこそ子どもたちに活動の場を与えたいと、昨年度より開催予定日数は多く計画されている。
白石市	H19 放課後子ども教室	1	白石市立越河小学校	○	7月	60日	開始前の6月にコロナウイルス対策研修会を実施。小学校と連携し、学校の対策に準じてガイドラインを作成した。各教室の第1回目については担当職員が出席し、スタッフと確認を行う等、スタッフの不安をなるべくなくすような対応を取った。 10月には「スミセイアフタースクール」を活用し、講師とZOOMでつながり、オンライン研修会を行った。市民先生を活用する等、プログラムを考えるうえで大切なポイントを学んだ。また、県内児童クラブでも感染があったことから対策をもう一度徹底するよう伝えた。
	H28 放課後子ども教室	1	白石市立深谷小学校	○	7月	40日	
	H30 放課後子ども教室	1	白石市立白石第一小学校	○	7月	22日	
	H30 放課後子ども教室	1	白石市立白石第二小学校	○	8月	3日	
多賀城市	H20 多小わくわく広場	1	多賀城市立多賀城小学校	未定	未定	0日	これまで、学校の状況を把握しながら、放課後子供教室の再開に向けて慎重に検討しております。昨年度まで活動していた場所が、第2教室や第2保健室として使用されておりましたが、保護者を含め地域住民の来校が1学期はできず、2学期以降も保護者の参加人数を制限して学校行事を進めている状況です。そのため、地域ボランティアによる本事業の再開目途が立たず、スタッフも残念に思っております。また、新型コロナウイルスの感染が本市でも発生し、50歳以上のスタッフが本市においては多いことや、1教室あたりの参加人数が30～40名いることもあり、感染予防しながらの実施が非常に難しい状況です。今年の3月の中止から8ヶ月が過ぎ、スタッフからも、今後再開できるか、このまま終わってしまうのではないかという不安の声も出ております。また、再開についても、万が一感染してしまったら・・・とスタッフ自身が心配になり、協力できるかどうかかわからないとおっしゃっている方もおります。スタッフのモチベーションが下がってしまっており、再開の見通しが立っても、スタッフとして協力できない方もたくさん出てしまう可能性があります。また、予算において補助額が大幅に減ることが予想されることから、事業自体を見直すことについてもスタッフは心配しております。これまで10年以上推進してきた放課後子供教室が今後も継続できるよう、国や県からの御支援と御協力をコロナ禍だからこそぜひお願いしたいと考えております。また、本市において次年度予算の編成時期となっております。学校を核とした地域力強化プランによる補助金、沿岸地域対象とした放課後子供教室への補助等について御検討よろしくお願いたします。
	H22 八幡小わくわく広場	1	多賀城市立多賀城八幡小学校	未定	未定	0日	
	H25 東小わくわく広場	1	多賀城市立多賀城東小学校	未定	未定	0日	
	H26 山王小わくわく広場	1	多賀城市立山王小学校	未定	未定	0日	
	H27 天真小わくわく広場	1	多賀城市立天真小学校	未定	未定	0日	
	H27 城南小わくわく広場	1	多賀城市立城南小学校	未定	未定	0日	
岩沼市	H19 東部のびやか教室	1	岩沼市立玉浦小学校	○	9月	16日	新型コロナウイルス感染予防対策を十分行い開催している。スタッフの方からの不安の声はそれほど多くなく、献身的に行っていただいている。実施できる内容が制限されているが工夫しながら行えている。
東松島市	H29 わくわくチャレンジ	1	東松島市立宮野森小学校	未定		日間	コロナ禍のため学校や参加児童に迷惑をかけたくないという地域の声があり、昨年度より大きくスタッフが減少した(特に、高齢者スタッフの減少)
山元町	H19 はまっこキッズ	1	山元町立坂元小学校	○	10月	19日	再開を心待ちにしていた児童が多く、昨年と同規模の人数の児童が参加している。開催回数やスタッフの人数も昨年とほぼ同等である。これからの活動においては、密にならず、子供たちが活動意欲を高める活動を企画することが課題である。
大衡村	H23 大衡小学校放課後子ども教室	1	大衡村立大衡小学校	○	9月	12日	密を避けるため、やむを得ず対象を全学年から変更し「1年～3年生」に変更した。